

# 沖縄県

定数：4名

立候補者数：5名



氏名 城間 定治

都道府県士会 沖縄県

年齢 49

勤務先名称 障害者支援施設ソフィア



氏名 末吉 恒一郎

都道府県士会 沖縄県

年齢 50

勤務先名称 大浜第二病院

### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成17～20年度 社団法人 沖縄県理学療法士会 社会局副局長  
 平成21年度 社団法人 沖縄県理学療法士会 地区担当局局長  
 平成22年度 社団法人 沖縄県理学療法士会 事務局副局長  
 平成23年度 社団法人 沖縄県理学療法士会 事務局長兼総務担当理事  
 平成24年～29年度 公益社団法人 沖縄県理学療法士協会事務局長兼総務担当理事  
 平成30年～令和元年度 公益社団法人 沖縄県理学療法士協会 事務局長  
 平成30年～令和3年度 公益社団法人 沖縄県理学療法士協会 南部支部 副支部長  
 令和4年～現在 公益社団法人 沖縄県理学療法士協会 糸満支部 支部長  
 平成24年～現在 公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員（沖縄県選出）

地域共生社会の実現には、こどもから大人、高齢者、障害者など全世代のニーズやライフステージに対応できる「理学療法士」の活躍が不可欠です。私は障害者支援施設の管理者（施設長）に加え、糸満市からの総合事業受託や地域包括支援センターの受託を行い、理学療法士の活動の場を広げてきました。また、沖縄県理学療法士協会では市町村単位での支部化（糸満支部）を実現し、地域の多職種との関係づくりを行う他、介護認定審査員、南部地区医療介護連携支援ネットワーク協議会委員、沖縄県障害者介護給付不服審査委員、糸満市障害者施策推進協議会という活動を通して地域共生社会の構築に力を注いでいます。今後も「理学療法士」として人材確保や育成、地域づくりに寄与するため、様々な事業を通して、共同活動、共通に経験をすることで連帯感や信頼関係を育み、ソーシャル・キャピタルの構築をしていき、我々の活力ある市町村支部の活動から協会活動へ声を届け、やりたいことができる組織、会員として安心できる組織づくりに寄与したいと考えています。会員それぞれが「理学療法士」として自己実現できるよう、日本理学療法士協会の事業活動へ参画するため立候補致します。

### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

日本理学療法士協会は、組織体制強化の方向性として、都道府県理学療法士協会との一体化した組織づくり、士会機能の強化、市町村における理学療法士の窓口体制の構築を挙げています。沖縄県理学療法士協会におきましては、支部化さらには市町村化の推進を掲げており、協会との連携をさらに強化していく必要があります。また、2022年度データにおいて、沖縄県理学療法士協会における入会率は71%と全国平均63.1%を上回っています。但し、休会率が19.4%で全国ワースト1位（全国平均14.7%）、退会率が4.1%（全国平均3.0%）で全国ワースト2位であり、特に入会5年以内の会員の退会や休会が多い点が課題です。これらの課題を改善していくためには、日本理学療法士協会へ当会会員の声を届けることをはじめ、協会の取り組みを見える化し、帰属意識の向上を図っていく必要があります。若い理学療法士の入会率を上げるために、魅力ある協会、士会の組織づくりのために尽力する所存です。

平成26年5月～平成27年4月 社会職能局担当理事  
 平成26年4月～平成28年3月 全国学術研修大会 in 沖縄実行委員会学術局副局長  
 平成28年3月～現在 公益社団法人日本理学療法士協会代議員  
 平成28年5月～令和2年5月 教育学術局担当理事／局長  
 平成29年4月～平成30年11月 九州理学療法士作業療法士合同学会 in 沖縄実行委員会学術局局長  
 平成30年4月～令和3年3月 第20、21回沖縄県理学療法学術大会実行委員長  
 令和3年4月～令和5年3月 第22、23、24回沖縄県理学療法学術大会大会長  
 令和1年5月～現在 副会長／表彰審査・査読委員会委員長



氏名 城間 俊充

都道府県士会 沖縄県

年齢 37

勤務先名称 しなさき訪問看護ステーション



氏名 喜瀬 真雄

都道府県士会 沖縄県

年齢 41

勤務先名称 琉生病院

### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

#### <活動履歴>

2013年～2017年 沖縄県理学療法士協会南部副支部長  
 2015年 第16回沖縄県理学療法士学術大会 運営局長  
 2017年～2022年 沖縄県理学療法士協会南部支部長  
 2019年～ 沖縄県理学療法士協会 教育学術局  
 専門認定領域研究支援部 部員  
 2019年～ 日本理学療法士協会代議員（沖縄県）

#### <立候補趣旨>

私は（公社）日本理学療法士協会代議員に立候補致しました城間俊充と申します。今期で3回目の立候補となります。理学療法士としての経験を通じ、現在は（公社）沖縄県理学療法士協会の運営に携わりながら、より広い視野で国・県の発展に貢献するため、代議員立候補を決意いたしました。私の活動基本は、理学療法士の質の向上と社会的貢献です。理学療法士は、患者の健康回復や向上に寄与する重要な存在であり、その役割がますます重要視されています。しかし、質の高い理学療法士が不足している状況もあります。私の目標は、「社会的貢献のできる質の高い理学療法士の育成」です。これを実現するためには、教育体制の改善が不可欠です。私は、理学療法士協会の運営経験を通じて得た知見を生かし、協会と連携しながら、理学療法士のスキル向上や教育制度の普及を図ります。同時に、国の政策においても理学療法士の重要性を訴え、医療・福祉の分野での役割強化を目指します。国民の健康をサポートするためには、理学療法士の存在が不可欠であり、その価値を国全体に広く認知していくことが求められます。私はこれからも、理学療法士のリーダーシップを発揮し、社会における役割を果たしてまいります。何とぞ宜しくお願い致します。

### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

#### 【立候補の趣旨】

公約（代議員になつてほしいこと）：日本理学療法士協会関連の研修や学会のオンデマンド（アーカイブ含む）配信環境の推進  
 理由：研修や学会のオンデマンド配信を今より増やしたいと思っています。

私は、今年度から健康増進・参加分野では日本初の認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関を「オンデマンド配信」で開講しました。おかげさまで初年度で49名の全国の登録理学療法士の方に受講して頂いています（健康増進・参加認定PTは全体で145名なので割と多い人数です）。受講生からは「スキマ時間に視聴できて嬉しい」や「業務の繁忙期以外の時期に視聴できるのでありがたい」などの声を頂いています。研修や学会はもちろん対面の方が良いですが、家事・育児・介護・宿泊費・交通費（特に沖縄など島嶼地域は厳しい）など時間やお金にいくつもハードルがあり毎回参加するのは無理ですよね。私も4人の子持ちなので無理です。こういう活動は「生涯学習制度」の一環なので、会員のライフステージに寄り添った形で運営してほしいと思っています。ということで上記の公約を掲げました。研修や学会の運営側の仕様書に「オンデマンド（アーカイブ含む）配信も併用することが望ましい」の一文を入れることを目指したいと思っています。そもそも仕様書ってあるのかな？ないなら何らかの形で上記の公約を実現させたいです。それと大切なことなのでここでしっかり言いますが、対面開催のみがダメとは言ってないですよ！様々な研修や学会を運営している方に感謝していますし尊敬しています。ただオンデマンド配信併用が増えれば良いな、選択肢が多い方が嬉しいなという世界観です。なるほど、その案良いね！と思う方がいれば投票お願いします。代議員の選挙って普通の選挙と違って一人1票ではなく複数人に投票できます。「生涯学習」について喜瀬案良いねという方は私にも投票宜しくお願い致します。



氏名 池城 正浩

都道府県士会 沖縄県

年齢 60

勤務先名称 専門学校 琉球リハビリテーション学院 金武校

#### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員  
公益社団法人 沖縄県理学療法士会 前代表理事  
九州ブロック理学療法士会 元副ブロック長

人生100年時代と言われている昨今、心身ともに健康でwell-beingの理想に理学療法士が携わる役割が大きいと感じます。  
毎年、1万人を超える理学療法士が輩出されるなか、AIやDXを活用した取り組みが益々進み、教育機関と臨床現場との関りが重要になると感じます。  
時代とともに将来の理学療法士が活躍でき社会から必要とされる専門職としての地位を確立できるよう協会の発展に微力ながら尽力したいと考え立候補させていただきます。